MITSUBISHI

安全のために必ず守ること

- ●取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
- ●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

★警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

◆お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れ や感電、火災等の原因になることがあります。 取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。

●取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の 原因になることがあります。

取付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になり ます。

冷媒配管工事がある場合の断熱は結露しないように確実に行なう。

●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を 発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。 電源配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

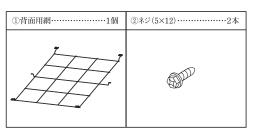
●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。

●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を 濡らす原因になることがあります。

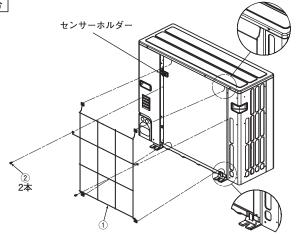
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。



2 取付方法

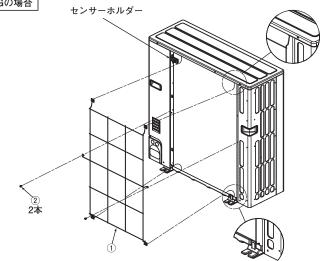
SJ32RGの場合



1)背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。 その際、下側は熱交フィンとベースのスキマ、上側は熱交フィンとトップパネルのスキマにそれぞれ 差し込んでください。

※上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることで決まります。

SJ33RGの場合



1)背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。 その際、下側は熱交フィンとベースのスキマ、上側は熱交フィンとトップパネルのスキマにそれぞれ 差し込んでください。 ※上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることで決まります。